

【十二月の言葉（令和五年）】

## 「念仏」

安らぎと、生きる喜びを得る。

阿弥陀如来という仏さまは、苦悩している人々を悲しまれ、必ず救うという願いを起こされ、どうすればすべての人々を救うことができるかと長い間考え抜かれ「南無阿弥陀仏」という声の仏さまになりました。

阿弥陀如来の願いは「わが名を称えてほしい」という願いであり、いつも私たちを呼び続けてくださっています。念仏を称えるということは、阿弥陀さまが口から出てくださるということです。「決して見捨てない」「いつも一緒です」「どんな時もあなたを支える」「我にまかせよ、必ず救う」とはたらいてくださっているのです。しかし、なかなか念仏が口から出てきません。なぜか？この「私」を救うために呼んでくださっているという実感がなくからです。煩惱いっぱい救われがたい「私」を救うために念仏となり、呼び続けてくださっていることに気づけば、おのずと念仏が口から出てきます。救われぬ身に阿弥陀さまの大悲心が沁み込しみ込込できます。

阿弥陀如来の願いを聞き、お念仏を称えましょう。大きな安らぎとなり、生きる力となります。